

## 第2回千葉県誕生150周年記念事業官民連携会議

日時：令和5年5月9日（火）

午後3時30分～午後4時10分

場所：三井ガーデンホテル千葉 3階 平安の間

### 1 開会

### 2 挨拶（熊谷知事）

委員の皆様方には大変お忙しいなか、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

いよいよ来月の15日に150周年という節目を千葉県は迎えることになりました。今年の1月から150周年事業に関する広報や協賛、イベント開催等に協力いただける「ちば150周年記念事業パートナー」の登録制度を開始しましたところ、大変多くの申請をいただいております。5月1日時点で283件と聞いております。

4月29日にはオープニングイベントに先駆けて、浦安市と共催で150周年の記念パレードを行いまして、沿道にはとても多くの方々がお越しになって、コロナ禍の中でこうした大きなイベントを待ち望んでらっしゃったんだということも伝わってまいりました。来月はオープニングイベントの開催など、各記念事業いよいよ本格的に始まってまいります。

来年6月までのおよそ1年間、様々な分野で連携して、県内各地で記念事業が展開される予定です。記念行事が全県で統一感のある企画になるように、総合プロデューサーの小林武史さん、総合ディレクターの北川フラムさんに協力をしていただきながら、本県ならではのオリジナリティーのある企画に磨き上げていきたいと考えております。

また、市町村だけではなく、官民一体となって記念事業を推進するために民間の皆様との連携も進んでおります。150周年ならではの企画を多くいただいております、この場をお借りして感謝を申し上げたいと思います。既に具体化して発表したものとしては、例えば県内に拠点を持っていらっしゃる山崎製パンさんに、県立商業高校の生徒にワークショップを受けながら商品開発をしていくという、こうしたビジネスを学ぶ機会を提供していただくことになりました。

この他にも本当はこの場で発表したいような様々な連携の取組が企画が進んでおりまして、随時発表をさせていただきたいと思っております。

この150周年記念事業、改めて千葉県の歩みをしっかりと県民の皆様方と共有していきたいと思っておりますが、150周年という節目を機に、千葉県の中での結びつき、連携がより深まっていく機会にもしていきたいと思っており、ウィズコロナ、アフターコロナという中で県内各地域に足を運んでいただきたいという思いもございします。是非そうした節目になるように我々の方で努力して、本県の文化や魅力を形にする事業を

推進してまいります。

委員の皆様方におかれましては忌憚のない御意見を賜りたいということ、そして今後150周年を一緒に盛り上げていただくそうした契機としていただければと考えております。今日はどうぞよろしく願いいたします。

### 3 議事（事務局説明）

事務局の県環境生活部スポーツ・文化局文化振興課長の赤池と申します。よろしくお願いいたします。

#### （1）県記念事業の進捗状況について

はじめに、先ほど知事のご挨拶にございましたが、オープニングイベントについて、説明させていただきます。オープニングイベントは来月11日の日曜日、会場が松戸市の森のホール21、隣接する21世紀の森と広場にて開催いたします。主なプログラムでございますが、森のホール21では、大ホールでは記念式典等を開催いたします。小ホールにおきましては、ミュージックライブと「DANCE Fes. in CHIBA」と題しましたダンスステージを開催する予定でございます。また、隣接する21世紀の森と広場におきましては、様々な体験コーナーを設けていく予定でございます。一つにアート体験コーナーといたしまして、県ゆかりのアーティストによる自然を活かしたワークショップを開催。また、松戸市在住のBMXプロライダー佐々木選手らによるBMXの体験コーナー、また、グルメコーナーや県立博物館・美術館の体験コーナー、千葉の魅力発見コーナー等も展開する予定でございます。

次のページをご覧ください。大ホールの方で開催いたします記念式典の内容でございます。記念式典は三部構成といたしまして、まずオープニングといたしましては、松戸市ゆかりのピアニスト西川悟平氏によるピアノ演奏。第一部がいわゆる記念式典でございます。国歌斉唱から記載のとおりの流れで進めてまいります。また、この中でちば文化資産のオリジナル フレーム切手のデザインコンテスト、これは昨年度実施したものでございますが、こちらの表彰式と切手の贈呈式、また千葉県150年の歩み映像の上映を行う予定でございます。続きまして、第二部でございますが、こちらは記念事業総合プロデューサー小林武史さん、総合ディレクター北川フラムさん、熊谷知事によるトークセッションを予定してございます。さらに第三部でございますが、こちらは千葉県少年少女オーケストラ、千葉県交響楽団によるコンサート、また、アンコールでは両団体の合同演奏を予定しております。招待者につきましては、記載のとおりでございます。本日官民連携会議の皆様にも招待状をお渡ししております。是非御出席くださるようお願いいたします。

次のページをご覧ください。オープニングイベントのブース出展でございます。民間企業の皆様には記載の千葉銀行さんをはじめ、協賛や物販等のブース出展をいただいているところでございます。また、19市町からブース出展をいただくとともに、県庁内各部局等からも物販や体験等のブース出展を予定しております。以上がオープニングイベントの説明でございます。

続きまして、県の記念事業のうち、県庁の各部局における記念事業について、説明させていただきます。まず当課で行う事業の主なものでございます。詳細につきましては、ご覧いただければと思いますが、いくつかかいつまんでご説明をさせていただきます。右側の上の方でございますが、千葉交響楽団による150周年の記念コンサートを12月23日に市原市市民会館で開催を予定しております。また、オープニングイベントにつきましては、来月11日に開催予定でございますが、来年6月フィナーレイベントを開催することで準備を進めております。開催場所につきましては現在調整中です。また、以下美術館・博物館での様々な事業を予定しております。説明につきましては、省略させていただきます。

次のページをご覧ください。こちらが県庁各部局による様々な記念事業でございます。部局横断的に取り組みまして、150周年を盛り上げていきたいと考えております。この中で「子ども・若者」の中に「150周年記念式典配付用記念品の作製」というものがございます。11日の記念式典の記念品ということで文鎮を作っていたいておりまして、こちらは千葉工業高等学校と船橋高等技術専門校の生徒に作製をお願いしているところです。

次のページをご覧ください。ロゴマーク入りのダムカードの作成ということで、こちらは限定品ということでございます。また、下のカウントダウンボードでございますが、3月7日に除幕式を実施したものでございまして、現在県庁本庁舎1階に置いております。本日は150周年の37日前ということで、「37」という数字が光っております。

次のページをご覧ください。こちらが地域行事というものでして、県内10か所ございます地域振興事務所に千葉・市原地域を加えまして、それぞれ各地域で地域の独自性を活かした行事を表にまとめたものです。例年県民の日行事ということで開催しておりますが、今回150周年ということで予算等の規模を拡大して実施するものです。かいつまんで説明させていただきますが、印旛・香取・海匝ですが、3地域合同のスタンプラリーを現在企画しているところです。また、海匝・長正は芸術文化祭、また廃校を活用した文化祭が企画されているところです。また安房・君津ですが、各市町が実施する記念事業とタイアップした行事を現在検討しているところです。以上が地域行事の概要です。

次のページをご覧ください。民間企業との連携の状況でございます。パートナー登録制度でございます。先ほど知事からの挨拶にもございましたが、5月1日現在でパートナー登録申請を283件いただいております。この中で官民連携会議の委員の方でパートナー登録をいただいている団体等を掲載させていただいております。引き続き、広報や150周年自体の盛り上げへの御協力をお願いしたいと考えております。また、連携の事例につきましては参考資料でも取り上げさせていただいておりますので、後ほど簡単に触れさせていただきたいと思っております。

## (2) 市町村記念事業の進捗状況について

市町村の方には県から記念事業を実施する市町村に対する補助金の制度を作りまして、現在補助金の申請を受け付けているところです。第一次申請ということで昨年度中に申請いただいたものをまとめたのがこちらの地図です。3月6日時点では24市町から申請をいただいております。このうち、色を変えている所は、広域連携ということで、市町村の枠を超えた取組を行うという形で申請をいただいた所を記載しております。地図から時系列に落としたのが次の表になります。これから申請する市町村もありますが、通年で県内各地で様々な事業が展開されるということが見えてきたところです。補助金の申請につきましては、5月末までに二次申請、また秋頃に三次申請を予定しており、より多くの市町村が事業を実施していただくという見込みをいただいているところです。こちらはまた情報提供させていただきたいと考えております。

次のページをご覧ください。「新たな芸術祭」についてです。先ほどの補助金ですが、複数の市町村が広域で芸術祭を実施する場合には、手厚く助成するという事で取組加算や広域加算という制度を設けております。その中で特に「本県の豊かな自然環境や東京との隣接性を活かし、アートや映像、音楽などに、テクノロジーやSDGsを取り入れた、本県ならではの新しい芸術祭」について、これを仮称ですが「新たな芸術祭」と位置づけ、未来を見据え、持続可能な社会づくりを考えるためのきっかけ作りとなる芸術祭になることを目指したいと考えております。なお、こういった芸術祭の開催の意向については、市町村に照会を行い、意向があると回答いただいた市町村の中から今後内容等を確認の上、実施について決定をしていく予定としております。

## (3) 公式ポスター案について

前回の官民連携会議ではロゴマークの案をお示しさせていただきましたが、このロゴマークを基にした公式ポスターの作成を進めております。チーバくんの作者である坂崎千春さんに作成をお願いしております。まだ完成品ではありませんが、こういったデザインのものを作り、来月からこちらを使って広く広報をしていきたいと考えております。

## (4) 参考資料について

まず、PR活動等についてです。一つ目が150周年記念の田んぼアート in 山武市です。山武市の道の駅オライはすぬま周辺の田んぼで実施するという事で準備を進めているものです。こちらを先月の記者会見で発表させていただいたところです。

また、ちば文化資産の追加選定です。昨年度の実業ですが、111件あったちば文化資産を150件に追加する選定を県民の皆様に投票いただきまして、実施したところです。

また、これまでのPR等の様子の写真を掲載しております。

次のページですが、150周年のPRということで作成した広報物を参考までに

掲載しております。パネル等については、県のホームページにもパネル画像の掲載がございます。もし活用したいことがあれば、当課の方までお問合せいただければと思います。また、パンフレットについても現在作成中でして、出来上がり次第、配布等もしたいと考えております。

次のページですが、民間の連携の例ということで、知事の挨拶の中にもございましたが、県立商業高校と山崎製パン株式会社との連携について、概要とスケジュール等を記載させていただいたところです。こちらも先月27日の知事定例記者会見で発表させていただいた内容です。こういった民間企業との連携が今後も引き続き行われるよう、150周年を契機とした取組を進めてまいりたいと考えております。

次のページですが、広報で御協力いただいている事例のご紹介です。タクシー協会さんやバス協会さんと連携したロゴマークの掲出等の御協力をいただいているところです。また、パートナーに登録いただいた企業さんに広報物資の掲出に御協力をいただいているということでご紹介をさせていただきました。

#### 【質疑応答】

議長 それでは、議題に関する御質問・御意見、また、全体を通じての御質問、御発言がある方いらっしゃいますでしょうか。

委員 本日は150周年記念ということで、色々事が起こって素晴らしいと思っております。実は昨年度、本日の配布資料にさせていただいておりますが、私ども千葉大学と千葉県さんとで、海のブランド化ということで千葉の海をイメージしたシンボルマークとシンボルカラーをご提案をさせていただいております。お手元の資料、小さいはがき大のものに記載のものを策定させていただきました。是非ですね、150周年のイベント等々でも海の魅力を取り上げていただけるといいかなと思っております。このシンボルマークでございますが、私ども千葉市で教育研究を行っておりますけれども、実際に私も学生もフィールドワークをして、千葉の魅力を再発見、再認識させていただきました。その上で、多様な海の存在、内房、外房と全く違った表情がございます。それからたくさん海の海が育ててくれた文化がございます。そのようなものを反映させたということでございますが、是非ですね海の多様な魅力、それから全国の中でも三方を海に囲まれたという非常に大きな特徴がございますので、そんな魅力を活用して、次のステップにつなげるような動きを150周年記念事業の中でも取り上げていただけるとありがたいなと考えているところでございます。一つ御検討いただければと思います。よろしく願いいたします。

議長 ただ今の御意見について、事務局いかがでしょうか。

事務局 先ほど市町村の記念事業の中でご説明させていただきましたが、今後補助金の第二次申請、第三次申請を予定しております。より多くの市町村で記念事業が

展開されていくと見込んでいるところです。その中で地域の魅力、もちろん海も含めた魅力を活かした事業を展開していただくということももちろんですし、また県で実施する事業の中でもフィナーレイベントにつきましては、現在開催地の調整をしております、今お話のありましたように海の魅力を伝えるような形でのイベントをできないかということも含めて検討していきたいと考えております。

議長 他に御意見ございますでしょうか。

委員 4月28日の弊紙を資料に加えていただき、ありがとうございます。千葉県は多様な顔があります。都市の顔、そして海の顔、里山の顔、こういった千葉県の持つ多様性を150周年を機に県内外の皆様にも再認識していただくような1年間にできたらいいなと思います。

議長 他に御意見ございますでしょうか。

委員 150周年記念事業をやられると聞いた時から100周年のことを思い出しております、私は高校生でした。何が一番残っているかという、今年千葉県が100年なんだということを学校で大々的に教えていただいた、それまでの歴史も教えていただいたし、今回の記念式典の中にも入っていましたが、県民歌をこの時にお作りなされたのではないかと。その時に県民歌を何度も練習させられて歌った思い出があります。そういう意味では今回は色々な高校生の皆さんとコラボしたりしていますが、基本的には次世代を担っていく若い方たちが千葉県を誇りに思って、これから千葉県を支えていこうという気持ちを育むことも非常に大きな要素だと思っております。この記念事業はそういう若い人たちが未来志向の考え方に結び付けるような形で成功していければ 非常にいいなと。我々も局に帰ってから協力していく所存でございますので、よろしく願いいたします。

議長 他に御意見ございますでしょうか。

委員 「新しい芸術祭」というのは、これから募集していくとのことですが、総合プロデューサーの小林武史さんや総合ディレクターの北川フラムさんが、というよりは各自治体の方で新たに企画することなのか、それとも総合プロデューサー、総合ディレクターの方々の監修のもとでなのか、総合プロデューサー、総合ディレクターと「新しい芸術祭」との関係性を教えていただければと思います。

事務局 記念事業自体、市町村で行うものでございまして、市町村の方でアイデア出しをしていただきます。それに対して総合プロデューサー、総合ディレクターがプロデュース、ディレクションをして、磨き上げていくという形で考えております。

す。素材を出していただいて、それを磨き上げていくのに見合うものであるかどうかを見た上で、それを磨き上げていき、こういった考え方の芸術祭に仕立てていくという形で考えているところです。

委員 素材の提案をこれから募集するというのでしょうか。

事務局 市町村には既に意向等の確認作業を進めているところです。

委員 それを小林武史さんや北川フラムさんが磨き上げられて、形として発表されるのはいつ頃になるのでしょうか。

事務局 実際に市町村が実施する時期に関わってくるということと、準備状況に応じてということになるので、一括での発表になるか、情報が小出しになるかということも含めて調整しているところです。

委員 広域で言うと、例えば市原や君津あたりの5市合同でアートのイベントをやられるようですが、これとは別の考え方なのでしょうか。それとも5市の合同のものも「新たな芸術祭」に含まれるというものなのでしょうか。

事務局 そういった内容も含めて、現在調整等を進めているところでございます。

委員 分かりました。ありがとうございます。是非千葉ならではの新しい芸術祭がこれを機に続いていくよう楽しみにしております。

#### 4 コメント（熊谷知事）

皆様から御意見をいただきまして、ありがとうございます。

150周年を迎えるという認知度は皆様方の御協力をいただきながら、着実に広がっていただろうと思っておりますが、あとはそこから先に冒頭で申し上げたとおり、各地域に実際に足を運んでみようと思っただけか、もしくは記念事業をきっかけに千葉県で生まれてくる文化の新たな潮流がしっかり作れるか、もしくは官と民の連携が振り返ると150周年の時に生まれたものが上手くいって、その後続いていると思っただけか、これはこれからの我々の努力に掛かっていると思っております。

また、各種団体や企業も当然ながらこの150年の中で様々な歴史をお持ちで、その歴史にも我々は併せて光を当てていきたいと思っておりますので、皆様方のそれぞれの企業や団体、あるいは皆様方のお声が掛けられる方々にも広げていただいて、もう50年後までありませんので、上手くこの節目を使えるようにしていきたいと考えておりますので、引き続きの御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

## 5 その他（事務局説明）

先ほど委員から御発言がありましたが、県では千葉大学の皆様と連携しまして千葉の海をPRするブランドデザインの作成とシンボルカラーの選定を行いましたので、この場をお借りしてご紹介させていただきます。

参考までに、先ほど委員からお話がありましたが、デザインを説明するカードと4月6日の報道発表資料をお配りしておりますので、そちらをご覧ください。ブランドデザインですが、大漁祝いの祝着である万祝を現代風にアレンジしました千葉の海を想起させるデザインです。また、シンボルカラーは4色ですが、万祝に使用される濃い藍色、千葉の内房・外房の海の色、空の色を組み合わせた4色をシンボルカラーとしました。

こちらは、県の方に事前申込をしていただきましたら使用料は無料ということにさせていただきます。千葉の海の魅力を多くの方に知っていただくため、県内外の皆様幅広く活用していただきたいと考えております。

## 6 閉会